

科目名	まつり実践実習Ⅱ		科目分類	■専門科目群 □総合科目群	
			国際学科	□必修 ■選択	
英文表記	Practice and Training of Festival Ⅱ		開講年次	■1年 □2年 □3年 □4年	
			開講期間	□前期 ■後期 □通年 ■集中	
ふりがな	いのうえ ひろし かわぐち まこと		実務家教員担当科目	修得単位	2単位
担当者名	井上 寛 川口 誠		実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用	
授業のテーマ	竿燈技術のさらなる向上を目指し地域のまつりや伝統文化に視野をひろげる				
到達目標	1. 竿燈の技術をさらに上達させることができる。 2. 地域のまつりや伝統文化へ視野を広げ、その重要性を理解できる。				
授業概要	8月の竿燈まつりの反省点をもとに、翌年の竿燈まつりに向けてさらに技をみがくための練習に取り組みます。一方で、秋田周辺のまつりや伝統文化にも視野を広げて学びます。				
授業計画					
第1回	オリエンテーション／竿燈の振り返り		第17回	まつり事例研究1(教場)	
第2回	竿燈の練習1(短大体育館)		第18回	まつり事例研究2(教場)	
第3回	竿燈の練習2(短大体育館)		第19回	まつり事例研究3(教場)	
第4回	竿燈の練習3(短大体育館)		第20回	まつり事例研究4(教場)	
第5回	竿燈の練習4(短大体育館)		第21回	まつり事例研究5(教場)	
第6回	竿燈の練習5(短大体育館)		第22回	まつり調査研究の準備1(教場)	
第7回	竿燈の練習6(短大体育館)		第23回	まつり調査研究の準備2(教場)	
第8回	竿燈の練習7(短大体育館)		第24回	まつり調査研究1(見学)	
第9回	竿燈の練習8(短大体育館)		第25回	まつり調査研究2(見学)	
第10回	竿燈の練習9(短大体育館)		第26回	まつり調査研究3(見学)	
第11回	竿燈の練習10(短大体育館)		第27回	まつり調査研究4(見学)	
第12回	竿燈の練習11(短大体育館)		第28回	まつり調査研究5(見学)	
第13回	竿燈の練習12(短大体育館)		第29回	研究成果のまとめ1(教場)	
第14回	竿燈の練習13(短大体育館)		第30回	研究成果のまとめ2(教場)	
第15回	竿燈の練習14(短大体育館)		第31回	研究成果の発表(教場)	
第16回	実技試験(短大体育館)		※第17回～31回は集中講義で実施します。 日程等詳細についてはポータルサイトでお知らせします。		

授業時間外の学習	秋田のさまざまな地域で行われる祭りや小正月行事に積極的に参加してください。
履修条件 受講のルール	全くの初心者の人でも基本から指導しますので興味があったらぜひ履修してください。 秋田市竿燈会より、感染予防対策の徹底が要請されています。マスクは徹底して着用してください。 まつりの見学など授業時間以外の夜間や休日に出かける場合があります。
テキスト	授業時に適宜資料を配布します。
参考文献・資料	秋田市竿燈会「竿燈ができるまで一竹の準備、親竹、横竹、継竹のつくり方、竿の組み立て方」
成績評価の方法	①まつり調査研究への参加と発表(30%) ②実技試験(30%) ③提出物・取組姿勢(40%) ※まつりに対する理解、取組姿勢や意欲を総合的に評価します。 ※出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、期末試験を受けることができません。
オフィスアワー	・川口（月曜日 13 時 00 分～14 時 30 分および木曜日 13 時 00 分～14 時 30 分） ・井上（月曜日 9 時 00 分～10 時 30 分および金曜日 13 時 00 分～14 時 30 分）
成績評価の基準	秀(100～90 点)、優(89～80 点)、良(79～70 点)、可(69～60 点)、不可(59 点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	
学生へのメッセージ	この授業が開講する後期は、「竿燈まつり」が終わったあとですが、来年の竿燈の準備はここから始まります。観客を感動させるためには、上手に演技するために努力をすることはもちろんのこと、その歴史や伝統をしっかりと理解することが重要です。来年の夏に「魂」を吹き込んだ演技をできるように今から一緒にがんばりましょう。